

日 時	令和7年3月24日（月） 15:00 ~ 16:30				
司 会	原	記 錄	原	場 所	本校 演習室3
出 席	土谷委員、飯島委員、井上委員、山本委員、小林委員、後藤委員			欠 席	織田委員、羽布津委員、西垣委員、高木委員

(1) 校長挨拶

- ・先日、全定とともに卒業式を無事終了した。全日制では、在学中3年間を通してオール5の成績をとり、進路では第1希望の国立大学に合格を決めた生徒がいた。その姿勢に敬意を表したく、個人的に賞を贈らせてもらった。また、定時制では三修制の生徒を含め、13名全員が進路を決定した。入学者選抜においても、本校を志願する生徒の数が増加した。今後も本校の教育活動に対する評価を高めていきたい。本日は忌憚のない意見をお願いする。

(2) 議事

①令和6年度学校評価報告書 実施結果（全・定）について

○全日制（副校長及び各グループリーダーより）

- ・県から指定を受けている「授業力向上重点推進校」としての取組については、一定の成果を出すことができた。令和7年度からまた3年間の指定を受けたこともあり、今後は教科横断的な学びなども含め研究を続けていきたい。
- ・数多い生徒会行事をすべて滞りなく実施し、生徒の自己効力感を高めることにつなげた。
- ・面談やサポートドックなどにより生徒の悩み等を吸い上げる場面を数多く設定し、SC・SSWを活用した教育相談体制を充実させている。
- ・キャリア教育を充実させたことなどにより、例年よりも生徒の進学状況はよい結果となった。
- ・例年通りの地域交流を行うことができた。
- ・ホームページの充実に取り組んでいる。
- ・さらなる教職員の働き方改革を推進したい。

○定時制（定時制教頭及び各グループリーダーより）

- ・ICTの活用がすすみ、生徒の基礎学力の定着につながっている。また、ティームティーチングによる指導も生徒の学習意欲の持続等に有用である。外国につながる生徒も増加していく中で、その支援も含めさらなる工夫をしていく必要がある。
- ・生徒個々の情報共有により、個別の支援体制を構築しているが、課題も複雑で多岐にわたっており、支援に苦慮している。
- ・生徒会行事への生徒の参加率も高く、生徒主体の運営も軌道にのっている。生徒の自己効力感を高めることにつながっている。
- ・外国につながりのある生徒へのキャリア支援に苦慮している。来年度は外国につながる生徒の進路を決定していかなければならないことが課題となる。
- ・PTA役員の不足という状況に対し、PTAという組織の在り方も含め検討中である。
- ・防災訓練を実施し、防災意識を高めた。

●委員承認

②各委員からの質疑応答、意見聴取

【全日制への意見】

- ・ICTの活用がすすんでいることは評価できるが、外国では、デジタル教科書の使用をやめたところもある。ICTを使えばよいというものではなく、生徒の資質・能力の向上に向けたひとつの手段と考えた方がよい。
- ・ロイロノートの活用をすすめ、授業デザインの工夫に取り組んでほしい。
- ・教育界でも、生成AIの活用は必須となる。その視点も持ってほしい。
- ・進学状況が好調であったことは、評価できる。
- ・ホームページの更新に努めてほしい。
- ・さらなる地域連携をすすめ、学校の活性化等につなげてほしい。
- ・アンケートやサポートドックでも拾えない生徒の課題もあると思う。そうした課題をいち早く発見し、対応していってほしい。

【定時制への意見】

- ・公開授業を見学したが、ティームティーチングによりきめ細やかな指導ができていた。
- ・最近は、中学校でも不登校となるなど弱い生徒が増加している。そういう生徒への対応に苦慮している。
- ・ジャムボードの活用などは、生徒の意見の共有化などに有用である。うまく活用してほしい。
- ・PTAの組織を改編するというのは、どのような改編か?
→来年度以降の活動内容を精査し、少ない人数でも活動できる内容を工夫している。
- ・外国につながりのある生徒支援も問題であるが、経済的に困窮する生徒の支援も頑張ってほしい。

●委員承認

③令和7年度年間行事予定（全・定）について

- ・体育祭・文化祭の日程は、例年と同様である。お時間があれば、お越しください。

●委員承認

事務連絡

- 来年度の学校運営協議会開催は、今年度と同じ6月、11月（公開授業参観）、3月を予定している。ご協力を願いする。

以上